



日に日に秋が深まる季節となりましたが、リバーキーパーズの皆様方はいかがお過ごしでしょうか？
スポーツの秋です。健康のため、日頃から適度な運動を心掛けましょう。

今回は、「土器川の野鳥」と「瀬切れと出水(ですい)」についてお知らせします。

土器川リバーキーパーズ通信は、皆様のご意見・ご質問に河川管理者としてお答えしていくものです。
土器川に関して、気になっていること、わからないことなど、どしどしご意見をお寄せください。

キーワード: 土器川の野鳥



○概要

土器川において、平成19年に土器川直轄区間(-0.6km～上流18.85km)で調査を行い、13目33科78種 3,597個体が確認されました。この調査結果から、土器川に生息する野鳥を分かり易くまとめた土器川野鳥観察ガイドマップを作成しました。爽やかな秋の季節、このガイドマップをもって、土器川のバードウォッチングに出かけてみませんか？



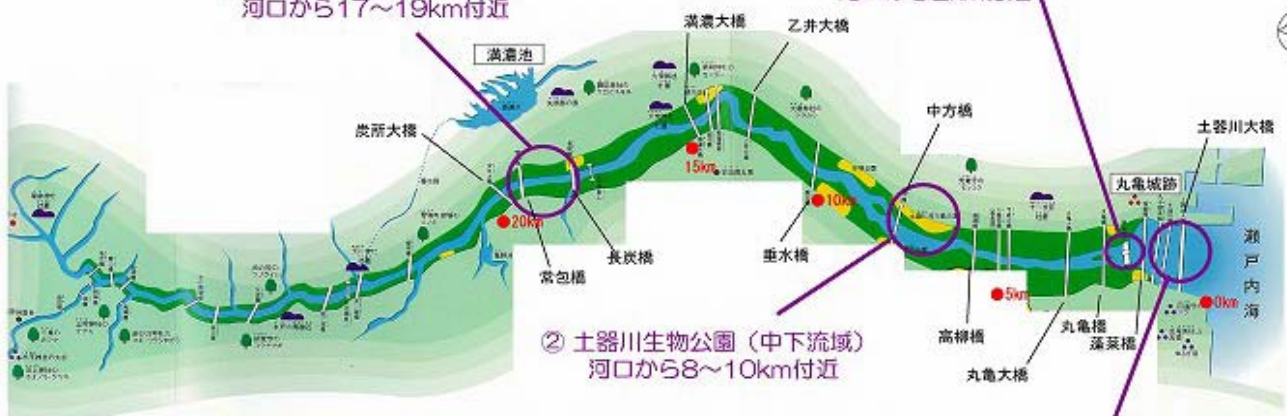
土器川野鳥観察ガイドマップ

～ 河川水辺の国勢調査(平成19年度鳥類調査)の結果より ～



① 長炭橋上流付近(上流域)
河口から17～19km付近

③ 蓬萊橋上流付近(河口域)
河口から2km付近



全体図(イメージ)

観察時期の説明
繁殖期: 5～7月ごろ
越冬期: 12～2月ごろ

確認される状況
鳴き声
目撃(飛翔・とまり・採餌等)

④ 土器川大橋付近(河口域)
河口から1km付近



位置図



① 長炭橋上流付近（上流域）

特徴：樹林や草地に生息する鳥が多い。

緑：一年をとおして確認される鳥
 橙：繁殖期に確認される鳥
 水色：越冬期に確認される鳥

草地環境

ホオジロ
ムクドリ

樹林環境

コジュケイ
キジバト
コゲラ
ヒヨドリ
メジロ

水辺環境

カワウ
イカルチドリ
カワセミ
クサシギ

モズ
ハシボトガラス
ジョウビタキ
ツグミ
アオジ

センダイムシクイ
ゴイサギ
ツバメ



樹林・草地・れき河原

位置図



② 土器川生物公園（中下流域）

特徴：一年をとおして、生息する鳥が多い。

緑：一年をとおして確認される鳥
 橙：繁殖期に確認される鳥
 水色：越冬期に確認される鳥

樹林環境

キジバト
コゲラ
ヒヨドリ
エナガ
シジュウカラ
メジロ
アトリ
シメ

ウグイス
ホオジロ
ムクドリ
ハシボトガラス
ジョウビタキ
ツグミ
アオジ
ベニマシコ

草地環境

セッカ
ヒバリ
カワラヒワ
オオジュリン

ヒクイナ

水辺環境

ゴイサギ
イカルチドリ
カワセミ
セグロセキレイ
ハクセキレイ

広域

ツバメ
ノスリ
チョウゲンボウ



樹林や草地（左岸側）

れき河原（右岸側）



位置図



③ 蓬萊橋上流付近（河口域2km）

特徴：水辺や草地に生息する鳥が多い。

緑：一年をとおして確認される鳥
橙：繁殖期に確認される鳥
水色：越冬期に確認される鳥

草地環境

- ウグイス
- モズ
- セッカ
- ホオジロ
- ハッカチョウ
- スズメ
- ムクドリ
- オオヨシキリ
- アオジ
- オオジュリン

水辺環境

- カイツブリ
- カワウ
- ゴイサギ
- ダイサギ
- コサギ
- アオサギ
- カルガモ
- イソシギ
- セグロセキレイ
- カワセミ
- マガモ
- コガモ
- ヒドリガモ
- オナガガモ
- ユリカモメ
- セグロカモメ
- ハクセキレイ

広域

- トビ
- ツバメ



コサギ



ユリカモメ



オナガガモ



オオヨシキリ



ハッカチョウ



草地・水面

位置図



④ 土器川大橋付近（河口域1km）

特徴：水辺や干潟に生息する鳥が多い。

緑：一年をとおして確認される鳥
水色：越冬期に確認される鳥

草地環境

- カワラヒワ
- スズメ
- ムクドリ

干潟環境

- ダイサギ
- コサギ
- アオサギ
- イソシギ
- セグロセキレイ
- ハクセキレイ

湛水環境

- カイツブリ
- カワウ
- カワセミ
- カンムリカイツブリ
- マガモ
- カルガモ
- ヒドリガモ
- オナガガモ
- ウミアイサ
- ユリカモメ
- ズグロカモメ

広域

- ミサゴ
- トビ
- ハシボソガラス



ミサゴ



カモ類の泳ぎ



カワウ



干潟・水面

キーワード：瀬切れと出水(ですい)



○概要

年間降水量が1,200mm程度と非常に少ない土器川流域において、農業を行う上では水を確保することが、大きな課題とされてきました。また土器川下流においては、表面水が伏没する瀬切れが発生し、雨の少ない時期には総流路延長の1/3にも及びます。さらに上流部の農家では問題なく、取水利用されている事も伴って、下流を流れる河川水は少なくなります。よって下流部の農家では用水の確保のために、ため池を利用し、また伏流水を取水する方式として、「出水(ですい)」と呼ばれる特色ある形態がとられています。

瀬切れ状況(中方橋下流)



○「出水(ですい)」解説

「出水(ですい)」と称される取水形態は、堤防地下を横断する暗渠を設置し、伏流水を堤内地に導水する方法です(下図参照)。土器川の中流～下流域にかけて、左右岸の沿線に数多く設けられています(右図参照)。

また利水機能の他にも、洪水時には魚類などの避難場所としても考えられています。

現在では、昔に比べて河床が低下したことから、ポンプ取水となっている出水や取水機能の低下から放置されている取水もあります。

暗渠で取水している出水(ですい) 25箇所



昔は石積みで作られていましたが、ほとんどが穴の開いたコンクリート管などに改修されてまーす。



川側

暗渠

居住地側

ですい
出水

出水(ですい)には、井戸で取水する方法もあって、それらを含めると全部で約60箇所もあるんだよ。



吐出口



板谷出水(河口より6.6k右岸)下流側から撮影

土器川リバーキーパーズに関するお問合せは



国土交通省四国地方整備局
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒761-0104 高松市高松町2422-1
TEL:087-844-4315(計画課直通) FAX:087-843-2935

